

令和4年度 若松小学校関係者評価書(様式)

鈴鹿市立若松小学校		学校関係者評価	今後の改善点
評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	学校関係者評価	今後の改善点
学力向上	<p>1.基礎・基本の確かな定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習カレンダーの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート肯定的意見約70% ○読書活動の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・若松タイムでの朝読書 ・図書巡回指導員による図書指導や読み聞かせの実施 ○パワーアップ学習タイム <ul style="list-style-type: none"> ・毎日復習に取り組む 2.活用力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○校内研修(国語)を中心とした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・取組を促進するために、「読書」活動を中心とした指導 ○ともに学び合い、考えを深める授業づくり ・年間7回の授業研を行う ・年間11回以上の校内研修会に取り組む 3.ICT機器の活用 <ul style="list-style-type: none"> ○フロムアッププロジェクト「書画カメラ」の活用 ・授業のさまざまな場面での活用 (国語での意見集約・社会見学の記事づくり・体育実技での振り返り等) <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日に家庭学習を学年×10分の取組は、児童には定着しつつある(アンケート結果児童77%)が、保護者にはまだまだ習慣していないという認識がある。(アンケート結果保護者約70%)また、家庭学習で宿題とは別に学習・復習の学習に取り組んでいる児童の割合が、昨年度より減少している。(アンケート結果児童 昨年度77%→今年度63%) ・パワーアップ学習は、「帰りの会」の中や朝の学習の時間で取組む、各クラスで基礎学習の定着に向け取り組むことができた。 ・校内研修の領域を昨年度から国語にし、本校児童の課題である「自分の言葉で説明する力の弱さ」や「発表する子としない子に分かれてしまう」「自分と他者の考えを比較しながら、学習を深めていくことの実感が少ない」等の解決に向けて、自分の考えや取組を書くこと、相手に共感しながら聞くことに注力をして研修をすすめてきた。 ・今年度は教科の枠にとらわれず、授業のさまざまな場面でのICT機器の活用を進めることができた。来年度に向け、より効果的な活用方法を考えていく必要がある。また、ICTサポートを活用し、児童により具体的に詳しく操作方法を学ばせることができた。 ・全国学力学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果から弱みを見つけ、授業や家庭学習に活かす取り組みができた。 	<p>・学校側が努力しても、保護者へ伝わっていないのが残念です。</p> <p>・家庭学習については、個人差が大きいと思うが、繰り返し伝えていくしかないと思う。</p> <p>・子どもたちがわかるように具体的な学習方法を知らせたい。</p> <p>・地道に取り組んで日々の積み重ねだと思えます。</p> <p>・ICTの活用をより進めてください。</p> <p>・国語の授業改善の取り組みは引き続きお願いしたい。人の話をしっかり聞き、自分の思いや考えを言葉で伝えられる力を付けてほしいと思う。</p>	<p>・今後も、書籍・漢字・計算の宿題を全学年で基本的な毎日出していきたい。宿題の方法については、新学期に説明を行い、学年に応じた内容に取り組ませたい。</p> <p>・若松タイムやパワーアップ学習タイム等の学習時間を活用して、学習に向かう態度を身につけさせたい。</p> <p>・来年度も、引き続き、国語科の授業改善について教職員で研修を重ねていきたい。本校の課題を解決できるように、「読む・書く」の力を伸ばしていきたい。そのため、それぞれに応じた場面を設定した授業づくりを考えていきたい。</p>
キャリア教育	<p>1.外部・地域講師による出前授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、各学期1回以上の講師招待 <p>2.郷土教育や環境教育の実施(地域に関連した学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での効果的な地域の人材の活用 <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年、様々な外部講師を招待することができた。感染防止対策を行いながら、昨年以上に活動することができた。 ○様々な外部講師から多くのことを学んできた。単年で終わらないよう、内容・人材・日時・使用した資料等をデータベース化していく必要がある。 	<p>・地域と協働はどれも大事なこと、いいことだと思う。</p> <p>・子どもたちに、良い刺激を与える意味からも、有意義な活動だと思え、継続的な活動を期待したい。</p> <p>・出前授業、地域に関連した学習は、広い視野をもつ意味が良いことと思う。</p> <p>・いろいろな体験ができて、子どもたちは感動的で良い刺激になると思う。次への意欲につながると思う。</p> <p>・もっと地域の人をお招きして郷土の教育してもらって、若松を知ることが大事。</p> <p>・今後のデータベース化等、より良い活用を考えてほしい。</p>	<p>・計画的に年間計画に組み入れ、6年間を通じて幅広い分野の体験ができるよう、積極的にキャリア教育を推進していく。</p>
特別支援教育	<p>1.定期的な支援会議の開催</p> <p>2.個別の支援計画、指導計画の作成</p> <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の中で、必要な児童について 定期的な支援会議を実施することができた。 ・年12回派遣されるスクールカウンセラーを活用し、保護者面談や教職員のコンサルテーション等を実施することができた。また、全職員で情報を共有し、支援の在り方や支援体制を整えることができた。 ・保護者登校の推進に対して、安心して学習に取り組めるよう、教育環境の整備を行った。その結果、少しずつ学校の授業や活動に参加する様子が見られる。 	<p>・よい取り組みだと思う。少しずつ学校、学級の授業や活動に参加すること、よいことだと思う。</p> <p>・定期的な支援をお願いしたい。</p> <p>・安心して学習に取り組めるように、支援体制や環境整備をしていただき、改善されてきたことは高く評価できると思う。</p>	<p>・療育園、幼稚園から小学校、小学校から中学校への途切れない支援を目指し、定期的、かつ長期的な取り組みを心がけていく。</p> <p>・保護者登校の推進をはじめ、さまざまな課題をかかえる児童が学校生活を安心して送れるよう、引き続き、学校環境の整備を進めていく。</p>
人権教育	<p>1.人権教育推進計画の作成及び推進</p> <p>2.仲間づくりのレポート研修会の実施</p> <p>3.多文化共生の考え方の推進</p> <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に「推進計画」を作成し、研修会で全職員で共通理解を図ることができた。 ・5月30日、2月1日、「実施の必要な子どもの姿」について、研修会で行われ、全職員で子どもの姿(困り感など)を共通理解し、支援体制を整えることができた。 ・外国語活動や総合的な学習・生活等の授業を通して、「多文化共生」について学習することができた。 ・現られた人権の中で、支援が必要なすべての児童や学校への対応が難しい場面もあった。 ・3学期には、全学年で今年度の人権学習のテーマ「多文化共生」について学習し、ホームページや学年通信などを通して、保護者への啓発をすすめることができた。 ・新型コロナウイルス感染、不登校傾向の児童について、関係機関等と連携を図っていく必要がある。 	<p>・現行活動を推進願いたい。</p> <p>・「友達の良いところがわかる」「いじめの防止」にもつながるので、一人ひとりの個性を大事にした仲間づくりを引き続き進めてほしい。</p> <p>・子どもを誘う会については、今後も年3回程度全体研修会を行う中で、支援の必要な児童を中心とした仲間づくりを全職員で考えていきたい。</p> <p>・必要に応じてケーススタディの研修を持ち、実践力向上の機会を設けたい。</p>	<p>・現行活動の推進を今後も引き続き行うとともに、子どもたちの現状把握とそれに応じた人権学習の推進を図っていく。</p> <p>・子どもを誘う会については、今後も年3回程度全体研修会を行う中で、支援の必要な児童を中心とした仲間づくりを全職員で考えていきたい。</p>
生活指導	<p>1.「地区児童会」「一斉下校」各学期に2回</p> <p>2.「あいさつ運動」3年度実施</p> <p>3.「あいさつ・チャームを守る、ホイッスルの携帯」3年度実施</p> <p>4.いじめ防止基本方針を学校HPに検討・掲載</p> <p>5.いじめアンケートを各学期に1回実施</p> <p>6.職員会議にて情報共有</p> <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ」については、児童会が中心となってあいさつ運動に取り組んだ。積極的にあいさつをする児童は多数いるが、マスクを着用している期間が長いこともあって、うつむいたり会釈の形のみで終わってしまう児童もみられる。「自分から進んで」「気持ちのよいあいさつをする」ことを今後の目標として取り組みたい。 ・「チャームを守る」「ホイッスルの携帯」は、ほとんどの子どもが守れるようになった。引き続き、指導をしていきたい。 ・職員間での情報共有により、気になる児童について、担任以外の教職員が関わって、指導を行った。 ・「いじめ」については、ピンクシャツ運動に取り組む、いじめを許さないことを発信できた。 	<p>・あいさつをする子どもは多くなった。まだ小さい。集団が低い。遅れてくる子が多い。靴が揃って送ってくる子が少ない。</p> <p>・消毒ボランティアをやっていると、気持ちの良いあいさつをする児童が増えてきているように思える。お互い気持ちの良いもの、推進。</p> <p>・「あいさつ運動」で子どもたちの元気のような気持が返ってくる。こちらも清々しい気持ちになれる。個人差はあるが、今後も続けていきたい。</p>	<p>・「あいさつ」の大切さについて、各学年で進められた教科書等教材を用いて引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>・今後も児童会を中心としてあいさつ運動を継続し、併せて指導も行っていく。</p>
安全教育	<p>1.防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 年4回(地震、火災) ・引き渡し訓練 毎年実施 ・津波避難訓練 ・防災ノートの活用 ・避難訓練前には、防災ノートを使った指導を行う。 <p>2.交通安全教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で交通安全について指導 ・3年生・6年生には、自転車の乗り方の指導 <p>3.保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会 年1回 学校医参加 ・除去食会議(栄養教諭、養護教諭、保護者) ・エビイベントと食物アレルギー対応研修年1回 ・教職員応急処置研修 ・AEDと救急法研修 年1回 <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練については、学期に1回以上実施し、回を追うごとにスムーズに避難できるようにしてきた。 ・津波避難訓練は、地域の方の協力もあり、安全に入行している。 ・今年度の引き渡し訓練は、若松小学校の各クラスにて行った。3年ぶりの小学校での引き渡し訓練となったが、スムーズに行うことができた。 ・防災ノートは、重複するところもあるが繰り返し活用することができた。 ・3年生・6年生を中心に交通安全教室を行い、自転車の乗り方について指導をしていただいた。また、各教室で動画を視聴して交通安全について指導を行った。 ・学校保健委員会は、今年度は2月に開催し、子どもたちの健康課題について話し合った。今後の学校保健活動に活かしていきたい。 ・今年度も水泳指導がなくなったが、応急処置や救急法の研修を行い、いざという時の対応を職員で共有することができた。 	<p>・訓練はよいこと、AED救急法は、社会へ出てからも役立つ。</p> <p>・下校時、緑帯からはみ出ている学校が多い。現行活動の推進をお願いしたい。</p> <p>・防災訓練や交通安全については、毎年繰り返し取り組んでほしい。</p> <p>・他市においては、今年度も水泳指導を行ったが、若松市も来年度は実施をお願いしたい。</p> <p>・避難訓練はやればやるほど身体が反応するようになる。もっとやるべき。AEDも同じ。</p>	<p>・避難訓練は来年度も引き続き行っていく。</p> <p>・登校時だけでなく、下校時自分たちで交通ルールが守れるように地区児童会や各教室で確認する。</p>
地域ぐるみの育	<p>1.鈴鹿型コミュニティスクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の開催 年6回 ・学校だよりを通して地域へ情報発信 月2回以上 ・学校ホームページの充実・定期的な更新 <p>2.地域の教育力の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAの共催行事への教職員参加 ・授業参観 年3回 ・若松地域防犯パトロール・見守り隊との連携 ・地域の方との交流 <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.鈴鹿型コミュニティスクール <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会では活発な協議がなされている。教職員の参加について今後改善し、学校と地域と協働した取組を進めていくために協議を行うとともに、学校だより・学校HP等の内容の充実を図り情報発信を続けていきたい。 2.地域の教育力の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで自粛していた地域行事が実施された。コロナ感染対策を万全にしていたことなどで、多くの児童が参加することができた。授業参観は昨年度より2回であったが、今後もより多く児童の活躍の場を設け、状況に合わせて計画を進めながら地域との連携を図ってほしい。 	<p>・地域を巻き込み、成果ありと思う。</p> <p>・負担がかけられない範囲で地域と先生方とのコミュニケーション、意見交換の場があっても良いのではないかと、PTAと先生方の場はあるのですが、学校だより等で情報を発信していただき、学校取り組みや子どもたちの姿がよくなった。今後も地域連携しながら、課題に取り組んでいくこと。</p> <p>・もっとも地域を巻き込み、今以上に子どもたちの勉強しやすい環境をつくる。</p> <p>・若松地域安全パトロール見守り隊をすすめるだけ協力いただけるように、機会があれば紹介していく。</p> <p>・より良い学校運営協議会になるよう意見を出していきたい。</p>	<p>・地域との協働を継続発展させるため、学校運営協議会への教職員の参加について見直しをしていく。また、学校だよりやホームページ等を通して、積極的に協議事項等を発信していく。</p>
教員働き方改革	<p>1.定時退校日の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2水曜日(金曜)を基本に月2回設定 <p>2.時間外労働時間の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後に開催される会議等を60分以内にする。 <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.定時退校日の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日における定時退校者の割合は、12月現在86.6%になる。昨年度より0.2ポイント改善された。また、月45時間を超え時間外労働者は、0人。しかしながら、家庭へ仕事を持ち込むなどの負担は依然として解消されていない。 2.時間外労働時間の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後に実施される会議について、60分以内に終了する割合が86.1%(昨年度、70%)。今後も、提案内容や方法の見直しを図っていくとともに会議の回数削減も検討していきたい。 	<p>・いつもいつもお疲れ様です。</p> <p>・改善されたこともあるが、引き続き直しや工夫を重ねてほしいと思う。</p> <p>・いつも子どもたちに熱心に授業に当たっていただき、ありがとうございます。</p> <p>・もっと自分の時間を取るようにすること。</p> <p>・現在月・水曜日2回青パト開催を行っているが、定時退校日が水・金曜日であればこちらに見直しをもう少し提案していきたい。</p>	<p>・ICTを活用し、ペーパーレスやタブレット等を推進する。</p> <p>・教職員の健康を優先し、業務改善を図る。</p>